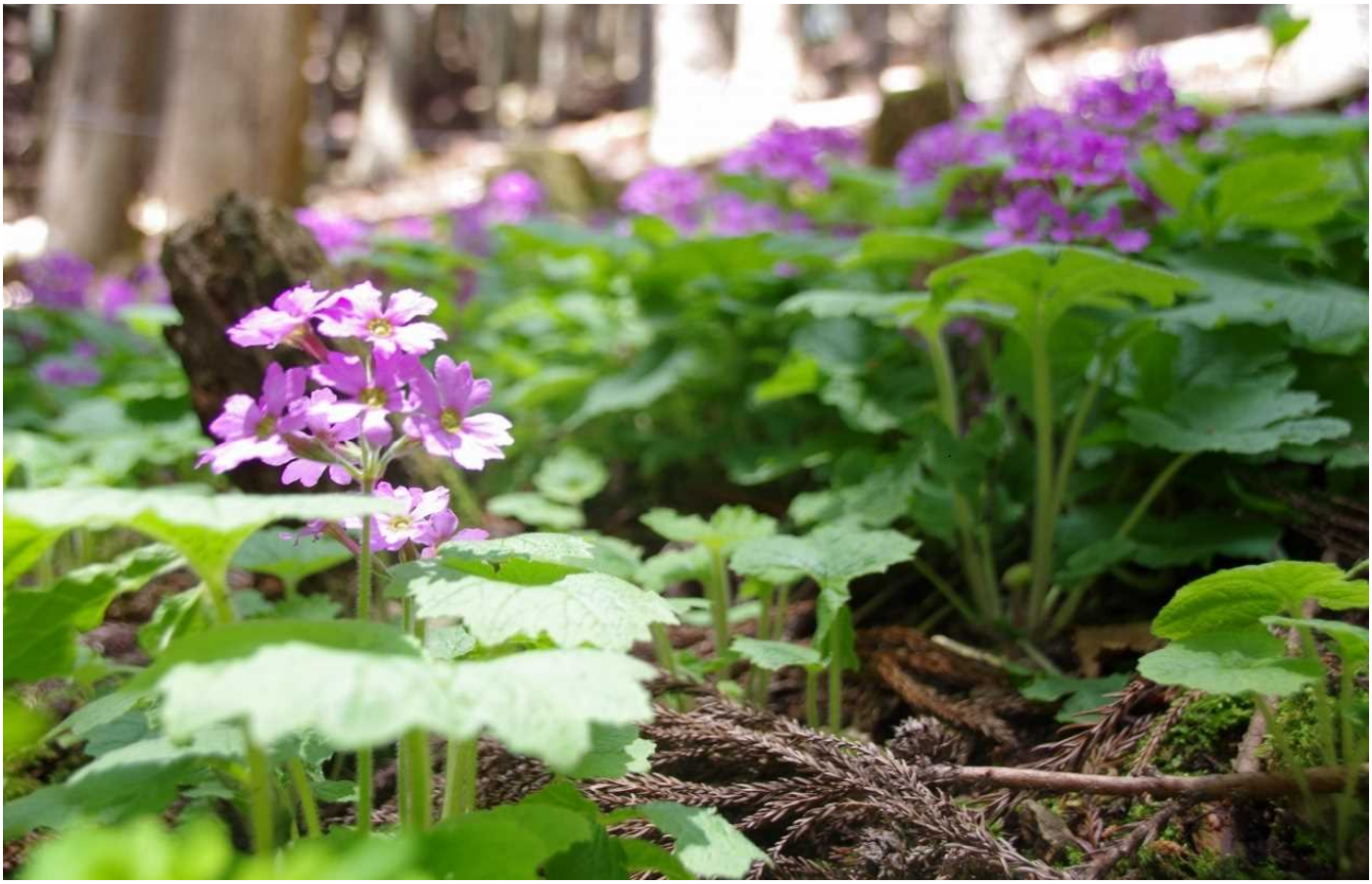
行動する環境アドバイザーの会報

第 89 号 2022 年

GREEN ニュース

環境アドバイザー連絡協議会
第 12 期　代表　西村 豊
令和 4 年　8 月発行
創刊 平成 5 年 7 月 16 日



「みどり市の山中に咲くカッコソウ」

カッコソウは日本でも桐生市・みどり市周辺の山地にしか生育せず，種の保存法で国内希少野生動植物に指定されています。

（写真提供 みどり市　鈴木久）

群馬県環境アドバイザーの登録状況（2022 年 8 月 20 日現在）

第 12 期（登録期間：2021 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日）の登録者数は、更新者、新規登録者を含め、合計 316 名です。

自然環境部会 142 名　温暖化・エネルギー部会 108 名、ごみ部会 87 名、広報委員会 30 名が登録し活動されています。

群馬県の環境情報サイトに、環境アドバイザーのページ開設

目次

P2　環境政策課からのご案内
P3　環境アドバイザーの役割とは
P4　ごみ部会、温暖化・エネルギー部会より
P5　カッコウソウ（勝紅草）の保全活動
P6　地域の保全活動に参加して/
　　アースデイ in 桐生 2022 に参加して
P7　桃ノ木川の自然観察会に参加して
P8　自然観察指導員講習会案内

環境政策課からのお知らせ

群馬県環境森林部環境政策課

1.群馬県の組織が変わりました

新・総合計画のビジョンの実現に向け、デジタルやグリーンイノベーションなどの新たなチャレンジで群馬県を更に輝かせるため、４月１日付けで組織改正を行いました。

グリーンイノベーションを推進する体制整備

２０５０年カーボンニュートラルの実現に向け、環境と経済の好循環を創出し、経済社会全体の変革を促すグリーンイノベーションを官民共創で強力に推進するための体制を整備する。

全庁を挙げて部局横断でグリーンイノベーションを推進していくため、知事戦略部に部長級のグリーンイノベーション推進監を新設する。

グリーンイノベーションに向けた企画立案と重点施策を実施するグリーンイノベーション推進課と、再生可能エネルギー推進室（同課内室）を知事戦略部に設置する（環境森林部気候変動対策課は廃止）。

2.環境サポートセンターからのお知らせ

「動く環境教室」エコムーブ号に新しい学習テーマが追加されました！

SDGs ってなあに？（小３～小５・SDGs 入門編）

「かるた」を使用して、楽しみながら SDGs を学習します。より身近に感じてくれれば良いですね。

3.群馬県地球温暖化防止活動推進センターをご利用ください

群馬県地球温暖化防止活動推進センター（えこサポ）の活動内容（https://www.gccca.jp/）

えこサポでは、地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性について、以下の啓発活動及び広報活動を行っています。

・地球温暖化防止講座への講師派遣、地球温暖化防止啓発ツールの貸出（説明パネルなど）

・地球温暖化防止資料の配布

（エコドライブ１０のすすめ、スマートライフおすすめ BOOK、“節エネ”ライフなど）

・地球温暖化防止に関する相談

URL：https //www.pref.gunma.jp/04/bl0100015.html

環境アドバイザーの役割とは

副代表　奈賀由香子

温暖化・エネルギー部会の部会長を前期から継続させていただいております高崎の奈賀と申します。第 12 期は連絡協議会の副代表も仰せつかりました。どうぞよろしくお願いいたします。

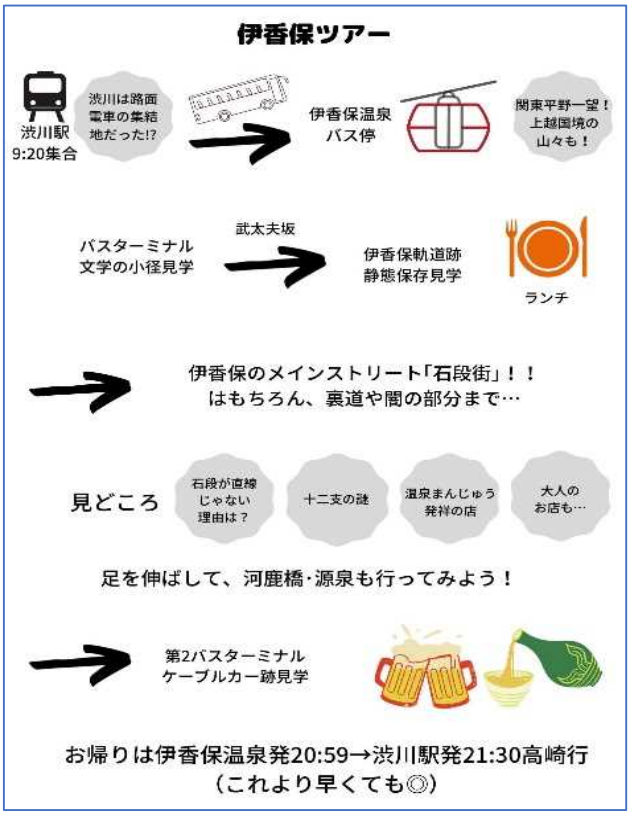
環境アドバイザーに登録される方は環境問題にご関心のある方と思いますが、登録はしたけど、何をやったらいいんだろう？と思っていらっしゃる方も多いかと思います。県の要綱で示されている「環境アドバイザーの活動」は、1.環境情報や意識高揚のための啓発活動　2.環境系市民団体を自ら作ったり、既存の団体への協力　3.市民団体のパイプ役として市町村と連携を取りながら活動を広めていく　4.（簡単に言えば）ご自身もブラッシュアップしてくださいねーとあります。こうして読むと、長く活動してきた私たちも、あらためて気が付くことがあります。最新の情報を得るべくアンテナを張っているかな、自分の勉強はしているかな、誰かに伝えているかな、そもそも自分で実践できているかな、ほかの団体と連携できているかな、市町村の環境担当は誰だっけ、などなど・・・。

アドバイザーと名前がついていますが、決して「上からアドバイスする偉い人」ではなく、まずは言葉だけではなく「自らできること・やりたいこと」から始めて自ら行動することが、自分の周りにちょっとした気づきを促すヒントになるといいですね。その行動が同じ目的を持った仲間づくり・地域づくりへと広がっていくのだと思います。それがアドバイザーの役割だと思います。

このグリーンニュースは皆さんの活動紹介・情報提供をしてくれますので、参加してみたい活動やつながりたい人たちに出会える場でもあります。地域や各部会の活動に参加するだけでなく、自らが呼びかけて新しい活動の場を作るのもいいですね！

最後に私の活動を一つご紹介させてください。クルマ王国群馬では、なかなか賛同が得られないのですが、公共交通の利用促進を目指す「のりのり学会」という任意団体を作り 7 年ほど活動しています。気候変動対策という視点で始めましたが、それ以外にも高校生や免許返納後の交通弱者問題や暮らしやすいまちづくりは？といった課題もあります。「公共交通」というだけで、いろんな声が聞こえてきそうですが、まさにそういう賛否両論、生の声を集めておりますので、ご意見ある方は下記までお知らせください（笑）。

norinori.gakkai@gmail.com



※写真は、5 月に開催した「公共交通で行く伊香保ツアー」の概要です。今後も開催予定です。参加者募集中！

ごみステーション？

ごみ部会　山田一朗

ごみステーションと言う言い方は、方言だと言う人がいます。我が高崎市でも、ごみステーションと呼んでいるので、少し意外な感じがします。しかし、ごみ集積所と言う呼び方の方が、全国的には多いらしいのです。しかもゴミステーションをネット検索すると大量の製品広告が表示されます。どうやら大型のごみ箱や分別用のコンテナなどを指して、ゴミステーションと呼んでいるらしいのです。それでも全国で4割近くの地域でごみステーションの名称を使用し、慣れ親しんだ言い方でもあるので、使うことに問題はないだろうと思います。

ごみステーションに出すか出さないか、分別するかしないかによってごみの量の大半が決まります。雨の日は出す人が減り、連休明けは量が増えます。コロナの影響でテイクアウトなどが増え、お弁当の容器など使い捨てプラスチックごみが増えました。空のペットボトルの量は、暑くなると増え、涼しくなると、ものの見事に減ります。ガラスや瀬戸物・素焼きの植木鉢などの多くは埋め立てられている現状があり、リサイクルできないかとの声も強まっています。また、本年4月施行された「プラ新法」によりリサイクルを義務づけられたプラスチック製品も、どう再資源化を推進するのか行政などの対応を見守りたいところです。

高崎市では、ほとんどのごみステーションに見守りカメラが設置され、環境保健委員らによる見回りが続けられています。ごみステーションに人がいるだけでルール違反が減り、収集すれすれのごみが置き去りにされることも少なくなるのです。ごみステーションの維持管理、見回り巡回などが重要なポイントではないでしょうか。単に指定ごみ袋の有料化だけでは、ルール違反の防止に繋がらず、ごみの減量は期待できないと思われます。地域住民の一人一人が、廃棄物行政に関心を持ち続けることが必要です。またそのような豊かな地域社会が、必要なのかも知れません。

温暖化･エネルギー部会 12 期後半の活動について

温暖化・エネルギー部会　奈賀由香子

第 12 期も折り返し地点となりますので、今後の部会活動についてお知らせいたします。
部会に登録されていなくても、どなたでも参加できます。

セミナー＆WS：　9 月 11 日（日）10：00～16：40　「5 つのゼロ宣言条例と再エネ」

伊勢崎市施設見学会：　10 月 27 日（木）午後予定　ごみ処理と小水力とメタン発酵

定例会：　2 か月に一度前橋市市民活動支援センター（M サポ）会議室にて開催
（9 月はセミナー時に兼ねる。次回は 11 月 3 日午前予定、奇数月に開催）

継続テーマ活動：地熱エネルギー、太陽光チーム、未利用熱の有効利用、
ミニ風力と熱電発電、公共交通の各テーマについては参加者を募集しています。

新企画　公共交通で行くエコプチ旅（二か月に一度程度開催予定）
8 月 29 日（日）公共交通で行く利根沼田の酒蔵巡りツアー
（他団体主催に参加）

今後の予定企画

・中央構造線を見に行く下仁田地質ツアー
・公共交通の歴史がわかる伊香保ツアー
・時速 19 ㎞の MAYU バスで回る桐生今昔ツアー
・オーガニックフードを恐竜センターで食べる路線バスツアー

温暖化対策となる企画案も募集しています。
参加等の連絡は 070-5572-9624（奈賀）まで。

カッコソウ（勝紅草）の保全活動

みどり市大間々町　　鈴木　久

前回の投稿は「アースデーについて」以来で２回目の投稿になります。

今回はカッコソウ（勝紅草）について思いつくまま記してみたいと思います。

みなさんご承知の通り桐生・みどり地区は群馬県の東部に位置し足尾を源流とする渡良瀬川の両岸に展開している山間部の多い所です。その一角に鳴神山系が存在し、その山系一帯に世界的に貴重なカッコソウが点々と自生しています。近年集中豪雨等で山林等が毎年流出して下流部に多大な被害を出している状況です。

環境アドバイザーを対象にした自生地の案内

そのような状況下カッコソウが国内希少野生動植物種に指定されました。幸い群馬銀行環境財団と生活協同組合コープぐんまより多大なる寄付を頂きましたので、絶滅を防止するため最も安全と思われる場所を２か所程選定し保護柵等を設置し仲間の人達で保全保護活動をしています。経済活動と温暖化による生物に与える様々な被害を繰り返さないための基本的対策はいよいよ待ったなしのようです。

＊群馬県レッドデータブック 2022 年では絶滅危惧ＩＡ類に評価されています

参考資料：桐生市のＨＰから抜粋

【カッコソウとは】

カッコソウは、かつては“山一面がピンク色になった”といわれるほど、足尾山地の山で見られたようです。しかし、近年その生育域は極端に縮小し、絶滅が心配されています。

2012 年、日本の絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律によるに指定されました

【学名の豆知識】

生物には、全世界共通の名前（学名）がついています。学名で覚えておけば、全世界で通じます。もちろん、カッコソウにも学名が付いています。

その名も　*Primula kisoana* Miq.var. *kisoana*　　サクラソウ科サクラソウ属　という意味。ここでサクラソウの仲間であることが分かります。

また、「カッコソウ」という和名も、その由来がはっきりとはしておらず、花が濃い紅なので「勝紅草」と漢字で書き「カッコソウ」と読んだという説が有力ですが、現在もはっきりとしたことが分かっていません。

【分布】

カッコソウは、地元の研究家・教育者であった岩澤正作が昭和初期の状況を記した新聞記事と、現在の生育が知られている範囲がほぼ一致することから、昔から桐生市・みどり市の狭い地域だけに生育しており、世界中でここだけに生育している希少な植物です。

地域の環境保全活動に参加して

太田市　西村豊

太田市西部の新田地域には、国内でも有数の規模を誇る大間々扇状地に涵養された標高 50～60ｍ付近には新田湧水群があります。湧水地近傍には多くの遺跡が分布し、古代には豊富な水を背景に稲作などの農業が盛んになり周辺に集落が分布していました。この恵まれた水環境は、自然界では生物に豊かな成長をもたらせています。

代表的な湧水のひとつ「矢太神水源」の下流水路では絶滅危惧種の「ナガエミクリ」が生育しています。2020 年度の県のレッドデータブックによると県内でも当地しか生育していないようです。

水路にはオオカワジシャ等の外来種も繁殖していますので地元の自治会では毎年除草や清掃活動を行い貴重な植物の保全を行っています。私も参加し絶滅危惧種や外来種の説明を行い地元の市民に啓発活動を行っています。

この活動には太田市の「1%まちづくり事業」の助成金で絶滅危惧種の説明看板の設置や草刈り機、備品燃料等を購入しています。

アースデイ in 桐生 2022 に参加して

桐生市　石井美帆（群馬大学 理工学部 4 年）

そもそもアースデイ(4 月 22 日)とは、世界中の人々が地球について考え、美しい自然環境に感謝する日であり、SDGs 等の地球の環境保護に関心の目を向けるための日です。

そこで「アースデイ in 桐生」では、近隣の高校・大学・企業をはじめとする、80 以上の団体が毎年参加し、子供向けの内容から大学の研究紹介など幅広い内容のイベントを行っています。本年度はコロナ禍での開催のため、4 月 29 日に有鄰館で 20 団体余りの小規模で且つ感染対策を講じた上での開催でしたが賑わいをみせ、群馬県環境アドバイザーもスタッフや展示等で活躍していました。

受付

ナローモビリティー

「桃ノ木川の自然観察会～水辺の生物を観察しませんか～」に参加して

～スマホアプリを使った今どきの自然観察会～

広報委員会　酒井 義明

令和４年６月 26 日(日)9:00～12:00 に“南橘の自然観察と環境を守る会”（代表：宗　義彦[群馬県環境アドバイザー副代表]）が主催した観察会に参加しました。

観察会は、桃ノ木川の源流に近い前橋市田口町で行われました。桃ノ木川は、利根川と吾妻川より取水された水が佐久発電所経て、農業用水として始まります。観察地は、田口町の桃ノ木川を守る会で手入れされた親水公園的な小川が数百m続きますが、周辺には住宅地が近接し小川の上流では三面コンクリートの用水路となるような動植物にとって生息域の連続性が乏しい環境です。このような場所では人手が加えられることにより維持されてきた二次的な自然があり、昔であれば人々の生活の場としての里川が、現代では人々の憩いの場として里川となっています。

写真 1　整備された観察会場

写真 2　水生生物の観察状況

当日は快晴(気温 33℃)、参加者(大人 10 名程度)で自然観察会が実施されました。自然観察会では、観察地の概要説明の後「水辺の植物」と「水生生物」について講師の説明を聞いたり、参加者同士で情報交換をしたりと、終始楽しく観察を行うことができました。

水辺の生物は、30℃を超える暑さのためか、あまり多くの種類を確認することができませんでしたが、水中の生物は、ウリゴリ、カワニナ、ハグロトンボ(ヤゴ)、カワゲラ、トビケラ、カクツツトビケラなど多くの生物を観察することができました。

これまでの自然観察会では、講師からの説明に耳を傾け、目で見てスケッチや写真を撮って帰宅後に図鑑などで種の同定をしながら知識を深めていくというのが一般的でした。今回おもしろかったのが、これまでの観察もしながら分からないところはスマホアプリを上手に使って種の同定や特徴などを調べている方がいたことです。手軽になることが必ずしも良いこととは思いませんが、興味を持つきっかけとしては面白い機能です。

右の写真のように、写真を撮ってスマホアプリで AI 判定すると、写真の下に確信度と合わせて候補があがります。その中から似ているものを選ぶと詳しい説明が出てくるというものです。似ているものが出てこない場合もありますが、その時は「質問へ」に送ると同じアプリを利用している方々から候補の提案を頂くことができます。もちろん自分で今までどおりの方法で調べても良いのです。アプリに正解を登録することでそのデータが機械学習のための教師データとなり、AI の精度を上げることに貢献できます。また、私たちが登録したデータはビックデータとして希少種や外来種の時空間的な分布状況などを研究する貴重な資源ともなります。ローカルな環境アドバイザーの活動を ICT 技術に載せることでグローバルな課題解決に繋がると思うとワクワクしてきますね。

写真 3　スマホアプリを使ってツマグロヒョウモンをＡＩ判定

自然観察指導員講習会開催のご案内

前橋会（自然観察指導員）　国安俊夫

公益財団法人「日本自然保護協会（NACS-J)」が 1978 年から開催している養成講座の受講者を「自然観察指導員」として登録し、「自然観察から始まる自然保護」を合言葉に活動しています。

その指導員を養成する県内開催 5 年ぶり 16 回目となる講習会が、今年 9 月 24 日・25 日に観音山ファミリーパークを会場に開催されます。詳細は 7 月定例分に添付されていたチラシをご覧ください。環境アドバイザーにも西村代表をはじめ何人もの受講者がいらっしゃいます。9 月 5 日締め切りで参加者募集中ですので、まだ受講されたことの無い方はこの機会に受講されませんか？

第 590 回自然観察指導員講習会　募集概要

主　　催　日本自然保護協会（NACS-J）
共　　催　ぐんま自然観察指導員会
　　群馬県立観音山ファミリーパーク（指定管理者　NPO 法人 KFP 友の会）
協　　力　ぐんま緑のインタープリター協会
開催日時　9 月 24 日（土）9 時半～19 時及び 25 日（日）9 時～17 時　完全日帰り
開催場所　群馬県立観音山ファミリーパーク（高崎市寺尾町）
募集定員　50 名　　募集期間 8 月 10 日～9 月 5 日
参 加 費　16,000 円(NACS-J 会員は 11,000 円)
応募方法　①専用ウエブフォームから申し込む　https://bit.ly/3uQW7DQ
　　②申込書を観音山ファミリーパークあてメールか郵送する

NACS-J ホームページ　　https://www.nacsj.or.jp/educate/2022/01/28838/

ＧＮの発行予定および問い合わせについて

グリーンニュース（GN）は年 4 回発行します。各号のレイアウトは 3 月、6 月、9 月、12 月の編集会議で決定される予定です。掲載したい原稿などございましたら下記にご連絡ください。

群馬県 環境政策課 環境政策係　環境サポートセンター 角張 俊明
〒371-8570　前橋市大手町一丁目 1 番 1 号
TEL 027-226-2827　FAX 027-223-0154　E-mail:kakubari-toshiaki@pref.gunma.lg.jp